

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	迎賓館の魅力向上に向けた施設整備に必要な経費			担当部局庁	内閣府	作成責任者				
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	令和2年度	担当課室	大臣官房企画調整課	企画調整課長 尾原知明				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する 計画、通知等	観光ビジョン実現プログラム					
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	内閣府迎賓館赤坂離宮(以下「迎賓館」という。)では、平成28年4月の一般公開以降、国内外から多くの参観者が来館しているが、参観者等が利用する休憩施設や利便施設は、迎賓館及び周辺エリアでは不足している。については、迎賓館前の新宿区若葉東公園において、休憩機能・広報機能・観光案内機能等を備えた新たな施設を整備し、今後、より一層の観光振興の観点からも参観者の利便性・満足度の向上を図ることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	迎賓館参観者の利便性・満足度の向上を図るとともに、周辺エリアの観光上の発信等を行う施設を整備する。具体的な機能として、休憩機能・広報機能・観光案内等を予定している。一昨年度から建設工事を進めており、令和元年度に完成、現在運営開始している。									
実施方法	その他									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
		補正予算	196.2	498.9	381.6	-	-			
		前年度から繰越し	-	1,119	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	70.1	1,339.1	64.5	-			
		予備費等	▲70.1	▲1,339.1	▲64.5	-	-			
		計	-	-	-	-	-			
	執行額	126.1	348.8	1,656.2	64.5	-				
	執行率(%)	124.1	277.8	1,601.3						
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	98%	80%	97%						
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	63%	17%	420%						
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	-	-	-							
	計	-	-							
定量的な成果目 標の設定が困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			迎賓館参観者の満足度向上が目的ではあるものの、施設の運営開始直後(令和2年6月)であるので、定量的な目標を設定できない。						
	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	追加工事について、滞りなくスケジュール通りに進むよう実施する。	事業の進捗状況		実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	施設整備スケジュールに沿って、実施設計、建設工事を完了した。その後の追加工事や、運営開始後必要となった工事の実施、備品等の調達を行う。			活動実績	0	1	1	-	-	
				当初見込み	1	1	1	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	予算額/実施整備件数			単位当たり コスト	百万円	196	1,688	1,720	65	
				計算式	百万円/件	196/1	1,618/1	1,720/1	65/1	

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	施設の整備にあたり、迎賓館周辺に不足している機能を実際の参観者を対象にアンケートを実施した上、検討しており、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	迎賓館の魅力を外に発信する機能を備えたものを想定しており、迎賓館を所管する内閣府が主体となって整備することが適切である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	観光は『地方創生』の切り札、GDP600兆円達成に向けた成長戦略の柱であり、観光の呼び水とすることを目的とした本事業は、必要かつ適切で優先度は高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業の実施にあたっては、一般競争入札や簡易公募型プロポーザル方式等を実施し、競争性を確保していると考えられる。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建設工事積算基準等に基づき各契約毎に費用算出していることから妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	施設整備にあたっては、工法等の比較検討を行い、適切な手法及びコストにより実施している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	不測の事態により、作業に遅れは生じたものの、施設整備スケジュール全体に支障はなく、成果実績は成果目標に見合ったものといえる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施にあたっては、工法等の比較検討を行い、適切な手段を選定されている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	不測の事態により、作業に遅れは生じたものの、施設整備スケジュール全体に支障はなく、活動実績は見込みに見合っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	設計業務の成果物であるパース等は、参観者及び現場周辺の住民向けに掲示する等、十分活用されている。
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先及び用途については、支出委任先である国土交通省が契約し、その内容については、逐次報告を受け、執行状況とともに確認している。 ・競争性の確保については、一般競争入札や簡易型プロポーザル方式等を取り入れている。 ・当初の計画に比べ、不測の事態により、工期延長によるスケジュール変更や、予算の繰越が発生したが、事業全体としては、令和元年度末に施設が完成し、現在、運営を既に開始している。 	
	改善の方向性	—	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
終了予定	令和元年度に終了予定であったが、不測の事態で予算を繰り越したため、当該経費について、事業の適切な進捗管理、効率的な予算執行に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
予定終了	所見を踏まえ、施設整備にあたっては、事業が全て完了するまで適切な進捗管理を行うとともに、効果的・効率的な予算執行に努めることとする。		
備考			

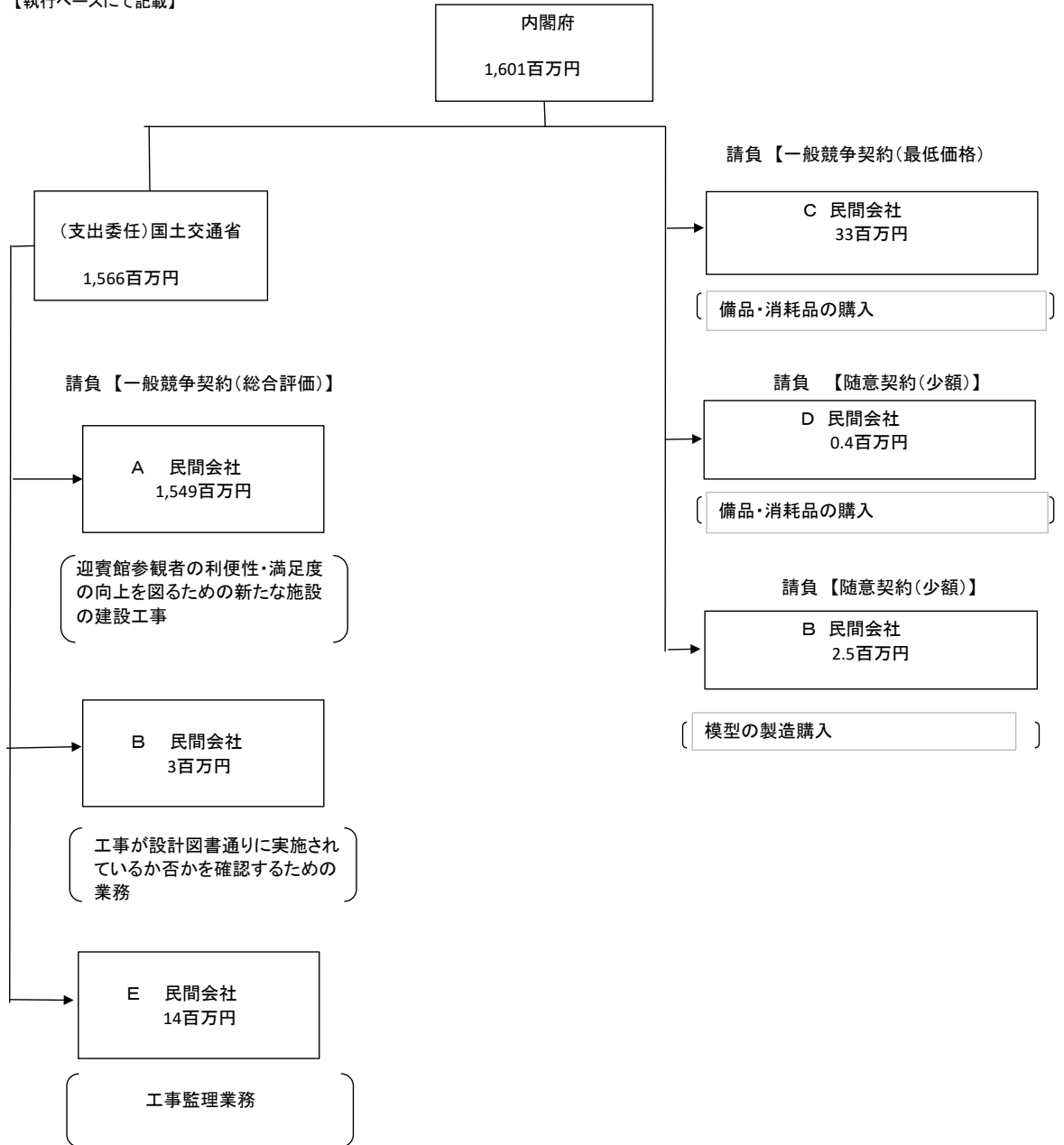
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	平成25年度	—
平成26年度	—	平成27年度	—	平成28年度	—	平成29年度	内閣府 新29-0013
平成30年度	166						
平成31年度	内閣府 (0175)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【執行ベースにて記載】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万円)



※一般事務費を除く。

※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 鉄建建設株式会社			B. 株式会社柳澤孝彦タック建設研究所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	施設整備費	施設の建設	1,549	施設施工庁費	設計意図を施工者に正確に伝達する業務	3
				施設施工庁費	模型の製造購入	2.5
	計		1,549	計		5.5
	C. 株式会社セイワビジネスサプライズ			D. 株式会社オカモトヤ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	施設施工庁費	備品・消耗品の購入	33	施設施工庁費	備品の購入	0.4
	計		33	計		0.4
	E. 日和エンジニアリング(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
施設施工庁費	工事監理業務	14				
計		14	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	鉄建建設株式会社	2010001008709	施設の建設	1,549	国庫債務負担行為等	2	98.5%	—

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社柳澤孝彦タック建設研究所	5010001059451	設計意図を施工者に正確に伝達する業務	3	随意契約(その他)	1	99.7%	—
2	"	5010001059451	模型の製造	3	随意契約(少額)	3	—	—

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社セイワビジネスサプライズ	2010401015610	備品・消耗品の購入	19	一般競争契約(最低価格)	4	—	—
2	"	2010401015610	"	13	一般競争契約(最低価格)	3	—	—
3	"	2010401015610	"	0.6	随意契約(少額)	3	—	—

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社オカモトヤ	1010401006180	備品の購入	0.4	随意契約(少額)	3	—	—

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日和エンジニアリング株式会社	7013301009652	工事監理業務	14	一般競争契約(総合評価)	1	82.8%	—